



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 サンリン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7486 URL <http://www.sanrinkk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩原 規男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 小原 正彦 TEL 0263-97-3030
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,293	△15.9	189	△34.9	256	△31.8	213	△17.4
2020年3月期第1四半期	6,296	9.7	290	72.5	376	64.3	258	86.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 268百万円 (44.0%) 2020年3月期第1四半期 186百万円 (△11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	17.42	—
2020年3月期第1四半期	21.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,284	17,141	70.6
2020年3月期	24,364	17,118	70.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 17,141百万円 2020年3月期 17,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから引き続き未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社えのきボーヤ、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	12,300,000株	2020年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	19,590株	2020年3月期	19,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	12,280,410株	2020年3月期1Q	12,281,925株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響について、現時点で合理的に算定することが困難なことから記載しておりません。詳細につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言発令を機に、休業要請、外出自粛が本格化したことにより、急激な縮小を余儀なくされました。5月25日の緊急事態宣言全面解除により、足元では経済活動再開の動きがみられておりますが、感染拡大第2波への警戒から、経済活動の全面再開は依然見通せない状況にあります。

当社グループ関連のエネルギー業界につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界経済の急減速により石油類の需要は落ち込み、4月には原油価格が大幅に下落しました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として事業継続計画の見直しを行い、従業員のアルコール消毒・マスク着用の徹底などの衛生管理強化に加え、オフィスの分散化等最大限の感染予防対策を実施してまいりました。

営業活動におきましては、県内外の往來の自粛等による給油所の燃料油の減販をはじめとして、宿泊・飲食・サービス業、小売業等の業務用燃料の需要が大幅に減少する中、訪問による提案営業の自粛や展示会等の中止により十分な営業を行うことができず、厳しい状況を余儀なくされました。

なお、2020年4月1日付で、青果事業を拡大させるため、えのき茸の生産・販売を行っている株式会社えのきボーヤの株式100%を取得し完全子会社化いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休業要請、外出自粛の影響等によりLPガス及びガソリン等の販売数量が減少したことから、売上高は5,293百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

利益面におきましては、販売数量の減少に加え、LPガスなどの在庫評価の影響等により、営業利益は189百万円（前年同四半期比34.9%減）、経常利益は256百万円（前年同四半期比31.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、213百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エネルギー関連事業)

LPガス・石油類とも主にコロナ禍の影響が大きい業務用の需要が減少したことから、売上高は4,628百万円（前年同四半期比20.6%減）、セグメント利益は191百万円（前年同四半期比24.5%減）となりました。

(製氷事業)

新工場の稼働により、売上高は73百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。セグメント損失は減価償却費等の費用が増加したことから13百万円（前年同期は10百万円のセグメント利益）となりました。

(青果事業)

株式会社えのきボーヤの子会社化により、売上高は434百万円（前年同四半期比113.3%増）、セグメント利益は18百万円（前年同期は13百万円のセグメント損失）となりました。

(不動産事業)

前年同期と比較し土地分譲の販売件数が減少したことから、売上高は47百万円（前年同四半期比42.2%減）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比87.9%減）となりました。

(その他事業)

運送事業・建設事業等のその他事業におきましては、ほぼ前年並みに推移し、売上高は109百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比58.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比79百万円減少し、24,284百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,223百万円、現金及び預金の増加290百万円、有形固定資産の増加265百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比102百万円減少し、7,142百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少708百万円、長期借入金の増加570百万円等によるものであります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末比23百万円増加し、17,141百万円となりました。この結果、自己資本比率は70.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国におきましては、今後も新型コロナウイルス感染症への対応に追われることが予想され、経済・景気への減速懸念が更に強まるなど、経営環境は厳しさを増していくことが予想されます。

当社グループの事業の柱であります「エネルギー関連事業」におきましては、今後も外出自粛要請等の影響を受けられる可能性があります。また、取扱い商品の性質上季節の変動が大きく、第3四半期及び第4四半期に占めるウェイトが高いうえ、為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格並びに数量に対し不確定な要素を含みます。

したがって、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等による先行き不透明な状態が続く中で、適正かつ合理的な算出が困難なことから、引き続き「未定」とさせていただきます。

今後の動向を見極めながら、適正かつ合理的な算出が可能になった時点で速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,129	6,419
受取手形及び売掛金	3,218	1,994
商品及び製品	1,113	1,122
仕掛品	73	263
原材料及び貯蔵品	381	400
その他	152	232
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	11,067	10,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,426	9,870
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,902	△7,092
建物及び構築物(純額)	2,524	2,777
機械装置及び運搬具	4,884	5,625
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,959	△4,649
機械装置及び運搬具(純額)	924	976
工具、器具及び備品	3,338	3,316
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,787	△2,787
工具、器具及び備品(純額)	551	529
土地	4,512	4,494
建設仮勘定	21	21
有形固定資産合計	8,533	8,798
無形固定資産		
その他	108	276
無形固定資産合計	108	276
投資その他の資産		
投資有価証券	4,176	4,275
繰延税金資産	103	133
退職給付に係る資産	47	39
差入保証金	148	148
その他	209	210
貸倒引当金	△30	△31
投資その他の資産合計	4,654	4,776
固定資産合計	13,296	13,851
資産合計	24,364	24,284

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,911	1,202
短期借入金	2,814	2,934
1年内返済予定の長期借入金	20	86
未払法人税等	259	57
賞与引当金	233	104
その他	603	797
流動負債合計	5,842	5,182
固定負債		
長期借入金	63	633
繰延税金負債	69	122
役員退職慰労引当金	246	194
退職給付に係る負債	658	644
資産除去債務	158	159
その他	206	206
固定負債合計	1,403	1,959
負債合計	7,245	7,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,248	1,248
利益剰余金	13,741	13,709
自己株式	△12	△12
株主資本合計	16,489	16,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	664	710
退職給付に係る調整累計額	△35	△26
その他の包括利益累計額合計	628	683
非支配株主持分	0	0
純資産合計	17,118	17,141
負債純資産合計	24,364	24,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,296	5,293
売上原価	4,559	3,620
売上総利益	1,737	1,673
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1	△0
給料及び手当	463	463
賞与引当金繰入額	84	85
退職給付費用	20	28
役員退職慰労引当金繰入額	7	8
その他の人件費	196	189
減価償却費	109	110
消耗品費	141	159
その他	421	438
販売費及び一般管理費合計	1,446	1,484
営業利益	290	189
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	54	48
受取賃貸料	9	9
持分法による投資利益	1	—
その他	25	24
営業外収益合計	90	81
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	—	9
その他	2	3
営業外費用合計	5	14
経常利益	376	256
特別利益		
固定資産売却益	—	72
特別利益合計	—	72
税金等調整前四半期純利益	376	328
法人税等	117	115
四半期純利益	258	213
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	258	213

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	258	213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	45
退職給付に係る調整額	2	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	0
その他の包括利益合計	△72	54
四半期包括利益	186	268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186	268
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,827	70	203	82	6,184	112	6,296
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	49	—	—	—	49	236	285
計	5,876	70	203	82	6,234	348	6,582
セグメント利益又は 損失(△)	254	10	△13	9	260	4	264

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	260
「その他」の区分の利益	4
セグメント間取引消去	26
棚卸資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	290

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,628	73	434	47	5,184	109	5,293
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	46	0	20	2	69	201	271
計	4,675	73	455	49	5,254	310	5,565
セグメント利益又は 損失(△)	191	△13	18	1	197	7	204

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	197
「その他」の区分の利益	7
セグメント間取引消去	△6
のれんの償却費	△9
棚卸資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	189

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社えのきボーヤの株式100%を取得し、連結の範囲に含めたことにより、全社資産としてのれんを計上しております。当該事象によるのれんの発生額は186百万円であります。

なお、のれんの金額は、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算出された金額であります。